

● 4 子どもの安全を守る生活環境・体制づくり

事業名	事業内容	今後の方向性	担当課	評価		事業実績 (実施した事業等を具体的に記載してください。)	【アウトカム評価視点】 市民等からの意見	改善策	事業内容及び方向性の見直し(変更)について		
				H27	H28				有無	変更内容	
(1) 安全なまちづくりの推進	81 歩道の整備	歩行者の安全性向上のため、現在行っている新設・改良工事において歩道整備等を行います。 ・バリアフリー歩行空間ネットワーク整備事業	歩道付きの市道は、限定されるため各事業年度において工事該当箇所があれば適切に対応していきます。	道路建設課	-	B	東小学校の通学路の指定路線となっている市道71068号線及び市道向小金2号補助幹線道路の歩道及び人道橋の整備にむけて用地買収を行いました。引き続き整備にむけて用地買収を進めます。	・通学路が危ないところが多いので、対策してほしい。 ・駅周辺には工事現場が多く、通学路以外も子どもの安全を確保してほしい。	工事該当箇所以外の通学路については通学路合同点検で対応していく。	無	
	82 公共施設の整備	既存の公共施設については、子どもをはじめすべての市民が安全で利用しやすいよう整備に努めます。また、新たに公共施設を建設する際には、ユニバーサルデザインの観点から建設を推進します。	今後も全ての市民にとって安全で安心な施設整備に努めます。	関係各課	-	-	(げんき村キャンプ場) げんき村キャンプ場トイレ改修事業については、平成29年度に実施予定です。 (生涯学習センター) 多目的トイレ内にベビーチェアを設置し、お子様を連れて来ても使いやすいように改善した。A館トイレも温便座に改善した。	・公共施設のトイレを整備してほしい。子連れでも利用しやすく、数が増えると助かる。	(げんき村キャンプ場) げんき村キャンプ場のトイレについては、平成29年度に汲取り式トイレを簡易水洗トイレに更新する予定です。また、多目的トイレを新たに設置予定です。 (生涯学習センター) ・ベビーベッドは現在C館1階女性トイレにあるため、男性が利用する場合は空いている会議室を利用しています。 ・子育てサロンは平成29年6月29日にプレオープン、平成29年9月14日から定期開催を目指して調整中です。	無	
	★83 公園の整備・充実	子どもが遊びを通して、健やかに成長できるよう、防犯面にも配慮した公園等の遊び場の整備・充実を図ります。	市民が安全で快適に施設を利用できるように公園・緑地、街路樹、市民の森等の草刈り、清掃、樹木の剪定及び遊具の安全点検等を実施すると共に施設の更新を行い公園施設の整備・充実を図ります。	みどりの課	B	A	公園緑地等の草刈り、清掃、樹木の剪定、遊具の安全点検等を実施した。 草刈り・清掃の自治会委託138箇所、 街路樹高木剪定12本、街路樹植栽高木3本、低木500本、遊具安全点検による遊具の撤去・新設・改修57基	・公園の遊具を充実させてほしい。 ・プレーパークのような子どもが自分の責任で、遊びを作り出せるような公園を望みます。	引き続き公園施設の適切な管理に努め公園施設の整備・充実を図ります。	無	
	84 駅施設の整備	鉄道事業者と連携して、駅施設の利便性の向上を推進します。	駅施設について、利用者の移動円滑化を検討します。	都市計画課	-	B	駅ホームにおける転落防止策として、内方線付き点状ブロックの整備を鉄道事業者において進めており、流山市においては、平成28年度に当該整備に対する補助金要綱を整備した。	-	今後は、鉄道事業者からの事前協議に基づき、補助金交付手続き等を進めていく。	無	
	85 住環境の整備	良好な住環境の維持、形成を図るため、地区計画や建築協定など、住民主体によるまちづくりを推進します。	引き続き「まちづくり相談員制度」を活かしながら、良質な魅力的なまちづくりを推進します。 引き続き、建築協定の締結に向けて協議を行ってまいります。	都市計画課 建築住宅課	- -	B C	平成27年度は1団体へ1回派遣した。平成28年度は派遣はないものの、周知活動を行った結果、平成29年度に4回の派遣を行うことになっている。 平成27年度は、新規1件・更新1件が認定された。平成28年度は、新規の認定は行っていない。	- -	引き続き、周知活動を行い、派遣回数増加に努めます。 引き続き、建築協定の認定に向けた協議を行ってまいります。	無 無	
(2) 安心して外出できる	★86 防犯対策の充実	犯罪等の防犯対策及び防犯の広報啓発に努めます。	今後も警察や関係機関と連携し、犯罪抑止に努めるとともに、安心メールを活用して犯罪情報の発信を行い、被害の未然防止に努めます。	コミュニティ課	B	A	警察や流山市民安全パトロール隊等の団体と連携し、防犯街頭啓発活動を実施しました。また、安心メールを活用して犯罪発生情報を発信し、被害の未然防止に努めました。	・地域の防犯ネットワークの強化は、もっと市が主導して行ってほしい。	地域の自主防犯団体や防犯指導員を対象とした防犯講話等を開催し、防犯情報の共有を図り、地域防犯力の推進に努めます。	無	
	87 防犯灯の整備	防犯灯のLED化を推進し、路上の安全確保に努めます。	平成28年度から、自治会が設置している防犯灯を市直営とし、その後の新規設置及び維持管理を省エネルギーサービス(ESCO)により行います。平成27年度は事業者選定、LED灯への一斉交換を行います。	コミュニティ課	-	A	地域自治会の協力のもと、防犯灯の新規設置等の整備及び不点灯等の対応を行いました。	・防犯灯をもっと増設してほしい。	今後も地域自治会と相談をしながら防犯灯の整備を行ってまいります。	有	【事業内容】 防犯灯を整備し、夜間における通行者の安全確保に努めます。 【今後の方向性】 防犯灯の整備は、地域自治会からの要望に基づき、市が行ないます。

● 4 子どもの安全を守る生活環境・体制づくり

	事業名	事業内容	今後の方向性	担当課	評価		事業実績 (実施した事業等を具体的に記載してください。)	【アウトカム評価視点】 市民等からの意見	改善策	事業内容及び方向性の見直し(変更)について		
					H27	H28				有無	変更内容	
環境の整備	88	交番増設の要請	交番の増設については、必要に応じ要望を行います。	コミュニティ課	-	D	大規模区画整理事業に伴う開発により、街の状況変化が著しいため、増設要請は行いませんでした。	-	市全体の街の状況を見ながら要請を考えていきます	有	【事業内容】 交番の増設を関係機関に要請します。 【今後の方向性】 交番の増設については、必要に応じて要請を行います。	
	3 子どもの交通安全を確保するための活動の推進	89	通学区域内の交通安全施設整備	通学路における危険箇所の改善や安全施設の設置等、交通安全対策に努めます。	道路管理課	-	A	市内16校の通学路に対し、53か所の対策を実施した。	・流山街道を通学に通う子どもたちは、狭い歩道を歩いていますが、ガードレール等がないので、きちんと整備してほしい。 ・江戸小の前の道路もほとんど信号もなく、危ないと感じる。	学校、警察、PTA、流山市の協力体制の強化。	無	
				通学路の緊急合同点検の実施した結果に基づき通学路の危険箇所について安全対策を毎年実施しています。今後は、平成26年度に策定した「流山市通学路交通安全対策プログラム」に基づき関係機関との連携をさらに図り、交通安全対策に努めていきます。	学校教育課	-	A	市内16校の通学路に対し、53か所の対策を実施した。		学校、警察、PTA、流山市の協力体制の強化。	無	
	90	交通安全教室の充実	幼稚園・保育所、小学校等において交通安全教室開催し、交通事故防止に努めます。	道路管理課	-	B	園児・児童を対象に年12回合計2,878人が交通安全教室を受講し、交通安全教育の啓発と事故防止に努めた。	・交通安全のルールを周知、徹底してほしい。	交通安全教室を知らない園に対して、広報やホームページなどで周知を図る。	無		
	91	チャイルドシートの貸出	チャイルドシート・ジュニアシートの無料貸出し、車両乗車中の交通事故による被害の軽減に寄与します。	道路管理課	-	B	年間、乳幼児用133台、学童用8台の貸し出しを行い、利便性の向上に努めるとともに、乳幼児等の安全確保にも努めた。また、母親学級においても、貸与していることの周知を行った。	・チャイルドシートは、母親学級や母子手帳をもらう際に、周知してほしい。 ・数が足りていない。現在の利用状況などをホームページなどに載せてほしい。	老朽化したチャイルドシートの更新を行う。	無		
92	交通安全教室の普及・啓発	市内小中学校を対象として、交通安全ポスター募集事業を展開することにより、交通安全意識の向上を図ります。また、新1年生を対象に、ランドセルカバーを配布する等、普及・啓発に努めます。	道路管理課	-	B	平成28年4月から小学校新1年生を対象に交通安全意識の高揚を目的としたランドセルカバーを配布した。	-	引き続き、ランドセルカバーの配布等を行い、交通安全対策に努めていく。	無			
4	★ 93	関係機関、団体との情報交換	子どもたちが事故や犯罪に遭わないまちづくりを推進するため、防犯灯の設置、「防犯協力の家」制度の充実を図るなど、警察、学校、自治会等関係機関・団体と連携し、地域ぐるみによる地域安全活動の充実を努めます。 ・通学路防犯灯の設置	コミュニティ課	B	A	地域の自主防犯パトロール隊や流山市民安全パトロール隊と連携し、児童生徒の登下校中の安全確保に努めました。	-	-	無		
			今後も市内防犯パトロール活動を推進し、児童生徒の登下校中の安全確保に努めます。	保育課	B	B	不審者や爆破予告等の情報について、各関係機関と連携を図り、速やかに対応し児童の安全の確保に努めた。	-	今後も不審者や爆破予告等の情報について、各関係機関と連携を図り、速やかに対応し児童の安全の確保に努める。	無		
	94	安全マップ等の作成	安全マップや通学路マップ等を作成し、子どもが安心・安全に生活できるよう情報提供を図ります。	指導課	-	A	各学校で安全マップ等を作成し、危機回避能力を育成した。	-	-	無		
	95	自主防犯活動の支援	各自治会等で実施する防犯活動や地域に設立された自主防犯パトロール隊の活動を支援します。	コミュニティ課	-	A	地域の自主防犯パトロール隊へ防犯ベスト等のパトロール備品を貸与するなどの活動支援を行い、自主防犯活動の推進を図りました。	・地域で子どもを守る取り組みがされているようで満足している。	引き続き、地域の自主防犯パトロール活動を支援し、子どもたちの安全確保に努めます	無		

● 4 子どもの安全を守る生活環境・体制づくり

事業名	事業内容	今後の方向性	担当課	評価		事業実績 (実施した事業等を具体的に記載してください。)	【アウトカム評価視点】 市民等からの意見	改善策	事業内容及び方向性の見直し(変更)について		
				H27	H28				有無	変更内容	
子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進	96 安全管理の促進	学校、保育所、幼稚園の安全管理を図るため、啓発活動を推進します。 ・不審者対応マニュアルの作成 ・不審者を想定した子ども対象の避難訓練 ・保護者への文書等による啓発活動 ・安心メールの発信 ・事件・事故発生ファイル情報の提供	今後も警察や関係機関と連携し、犯罪発生情報を自治会等へ提供して事業の継続を図り、犯罪防止に努めます。	コミュニティ課	-	A	警察の協力により作成した犯罪発生情報を安心メールで配信するとともに、各自治会へ回覧依頼し、犯罪防止に努めました。	-	-	無	
			様々な災害、事故、犯罪に対して児童生徒の安全を確保していくために、今後も継続した取組を実施します。	指導課	-	A	児童生徒の安全を確保するために、学校等への啓発活動を推進した。	-	-	無	
			子どもの安全管理を促進するために、職場内研修を定期的実施し、職員と保護者・関係機関との情報共有に努めます。	保育課	-	B	不審者や爆破予告等の対応について、各関係機関と連携を図り、速やかに情報を発信し、児童の安全の確保に努めた。また、ミーティング等を活用し、保育所内で情報・対応について共有を図った。	-	今後も不審者や爆破予告等の対応について、各関係機関と連携を図り、速やかに情報を発信し、児童の安全の確保に努める。また、ミーティング等を活用し、保育所内で情報・対応について共有を図る。	無	
	97 防犯体制の充実	流山警察署をはじめとする関係団体・機関と連携し、暴力排除・防犯活動を推進します。	コミュニティ課	-	A	警察や流山市民安全パトロール隊等の団体と連携し、防犯街頭啓発活動を実施するなど、防犯活動を推進しました。	-	-	無		
	98 防犯協会連合会への支援	流山市防犯協会連合会へ補助金を交付し、防犯に関する活動を支援します。	コミュニティ課	-	A	流山市防犯協会連合会へ負担金を支出しました。同会では、自主防犯パトロール隊や防犯指導員を対象とした防犯講話を開催するなど、防犯に関する各種事業が行われ、犯罪抑止と市民の防犯意識の向上に努めました。	-	-	有	【事業内容】市内の各種防犯団体等で組織された流山市防犯協会連合会へ負担金を支出し、防犯に関する活動を支援します。	
99 防犯に関する普及啓発活動	市民との協働により、防犯に関する広報啓発活動を行います。	コミュニティ課	-	A	市内の犯罪発生情報を安心メールやホームページで公表し、さらに自治会へ回覧依頼し、防犯意識向上と被害の未然防止に努めました。	-	-	有	【事業内容】安心メール等を活用し、防犯の啓発を行います。		
100 保護者・地域との連携による防犯活動	保護者や地域の市民、学校、警察などが連携し、「子ども110番」の設置や「学校付近のパトロール活動」を行うなど、防犯活動を推進します。	指導課	-	A	地域や学校と連携し、登校時・下校時を重点的に学校付近のパトロールを行った。	・登下校の防犯パトロールを充実させてほしい。	今後も保護者や地域と連携し、防犯活動の更なる充実を推進します。	無			